



第1分科会 (石川県高P連主管)

講演Ⅰ・Ⅱと質疑応答

会場：いしかわ総合スポーツセンター・メインアリーナ

テーマ **新時代の家庭教育**

サブテーマ **今、伸ばすべき本当に必要な力**

趣旨

家庭教育はすべての教育の原点として基本的な生活習慣や生活能力、自制心や自立心、豊かな情操、基本的倫理観や正義感、社会的マナーなどを育成する上で重要な役割を果たすものです。

しかし、少子化や核家族化、地域におけるつながりの希薄化等、家庭をめぐる状況の変化の中で、人への思いやり、道徳心の涵養、感性の錬磨、主体性の育成、自己肯定感の高揚など、本来は主に家庭がその役割を担っていたものが、今日では学校に委ねられるようになり、その依存度はますます大きくなっています。一方で各家庭における教育はそれぞれの価値観やライフスタイルに基づいて多様性が増しており、また親の過保護や過干渉、多感な思春期の子育てへの自信の喪失、無責任な放任、そして急変する社会環境への不安等、様々な問題が生じていると指摘されています。

この分科会では、高校生の親としてどのように我が子の成長と向き合い寄り添っていけばよいのかを今一度見つめ直し、これからの時代における家庭教育の在り方、学校教育との連携とそのためのPTAの役割について考える機会とします。

内容

講演 質疑応答

講師

【講演Ⅰ】中室牧子氏

(慶應義塾大学総合政策学部教授／公益財団法人東京財団政策研究所 研究主幹)

[演題] 教育に科学的根拠を

【講演Ⅱ】高濱正伸氏

(花まる学習会代表／NPO法人子育て応援隊むぎぐみ理事長)

[演題] 思春期の親だからできること

司会

荻野直子氏 (元石川県高P連副会長)

講師プロフィール



中室 牧子氏

慶應義塾大学総合政策学部 教授／デジタル庁 デジタルエデュケーション統括／公益財団法人東京財団政策研究所 研究主幹

慶應義塾大学卒業後、日本銀行等を経て現職。コロンビア大学にてMPA、Ph.D.取得。

専門は教育経済学。国の規制改革推進会議等で有識者委員を務める。

著書はビジネス書大賞2016準大賞を受賞し発行部数30万部を突破した『「学力」の経済学』(ディスカヴァー・トゥエンティワン)、週刊ダイヤモンド2017年ベスト経済学書第1位の『原因と結果』の経済学』(共著、ダイヤモンド社)など。



高濱 正伸氏

花まる学習会代表／NPO法人子育て応援隊むぎぐみ理事長

東京大学卒、同大学院修士課程修了。NPO法人子育て応援隊むぎぐみ理事長、算数オリンピック委員会作問委員、日本棋院理事。学生時代から予備校等で受験生を指導する中、学力の伸び悩み・人間関係での挫折と引きこもり傾向などの諸問題が、幼児期の環境と体験に基づいていると確信し、1993年、幼児～小学生を対象とした学習塾「花まる学習会」を設立。「メシが食える大人に育てる」という理念のもと、思考力、作文・読書、野外体験を軸にすえ、現在も現場に立ち続ける。2020年から無人島プロジェクトを開始。

保護者や子ども、教員向けの講演を年間約130回開催し、これまでにのべ20万人以上が参加している。『伸び続ける子が育つお母さんの習慣』『算数脳パズルなぞペー』シリーズ、『メシが食える大人になる!よのなルールブック』など、著書多数。



第2分科会 (石川県高P連主管)

基調講演Ⅰ・Ⅱとパネルディスカッション

会場：石川県産業展示館4号館

テーマ **新時代の学校教育**

サブテーマ **学習意欲を高める個別最適化、協働的な学び**

趣旨

これまで我が国の学校教育は学習機会と学力の保障、全人教育の面において諸外国からも高い評価を得てきました。しかし、少子化が進み、社会が劇的に変化する「Society.5.0」、「アフターコロナ」と言われる昨今の時代において、一斉授業の限界、教師不足、地域や家庭の教育格差等を始め、多くの問題も表面化しています。学校においてもICT活用、探究学習、大学入試等、様々な改革に着手していますが、テクノロジーを始めとする社会の急激な変化に対して、学校教育は追いつけないといった印象です。特に、学習意欲の質の向上や加速度的に進展する情報化への遅れは、我が国の経済成長を阻害する要因とも指摘されています。一昨年のコロナ禍での学校休校中には約半数の高校でオンライン授業が行われ、その利便性が明らかになったことから、急遽GIGAスクール構想が前倒しされ、AIを利用した自学自習の効果も期待されているところです。

この分科会では経済産業省が目指そうとする知識の再構築をしながら付加価値を生み出す人材育成のための「未来の教室、EdTech、STEAM教育」を切り口に、文部科学省は新時代の学校教育のあり方について、オンラインやAI等のICTを活用しつつ、個別最適化、協働的な学びをどのように実現しようとしているのかについて学びます。

内容 基調講演 パネルディスカッション

講師 **【基調講演Ⅰ】浅野大介氏**

((内閣官房内閣参事官(内閣官房副長官補付))内閣事務官)

[演題]「未来の教室」を構想する

【基調講演Ⅱ】合田哲雄氏

(内閣府(科学技術・イノベーション推進事務局)審議官)

[演題]教育DX時代の子どもたちの学び ～学校は何のためにあるのか～

パネリスト **浅野大介氏、合田哲雄氏**

高木慎一郎氏(令和3年度石川県立金沢泉丘高等学校PTA会長・株式会社銭屋代表取締役)

コーディネーター **外村 仁氏**(元エバーノートジャパン会長)

司会 吉川ゆかり(石川県立金沢泉丘高等学校PTA副会長)

講師プロフィール



浅野 大介氏

(内閣官房内閣参事官(内閣官房副長官補付))内閣事務官

2001年に経済産業省に入省。資源エネルギー・地域経済など様々な政策分野の業務を経て、2016年に教育産業室を立ち上げ。文部科学省との協業によって、初等中等教育における1人1台端末環境の早期実現を進めるGIGAスクール構想の推進や、EdTech(エドテック)を活用した新しい学び方を実証する「未来の教室」プロジェクトを推進し、全国の学校で実証事例を展開している。



講師プロフィール



合田 哲雄氏

内閣府（科学技術・イノベーション推進事務局）審議官

70年生、倉敷育ち。92年文部省入省。福岡県教育庁高校教育課長、国立大学法人化の担当、08年学習指導要領改訂の担当、NSF（全米科学財団）フェロー、高等教育局企画官、研究振興局学術研究助成課長、初中局教育課程課長、内閣官房内閣参事官、初中局財務課長、科学技術・学術総括官等を経て21年7月から現職。上越教育大学、東北大学等の非常勤講師。単著に『学習指導要領の読み方・活かし方』（教育開発研究所、19年）、共著に『学校の未来はここから始まる』（教育開発研究所、21年）、『メディアリテラシー：吟味思考（クリティカルシンキング）を育む。』（時事通信出版局、21年）。論考に「アイデアとしての『Society5.0』と教育政策」（『教育制度学研究』第27号（20年））。目黒区立の小中学校のPTA会長を6年間経験。」

パネリストプロフィール



高木慎一郎氏

令和3年度石川県立金沢泉丘高等学校PTA会長

日本料理 銭屋 主人

株式会社銭屋 代表取締役

株式会社OPENSAUCE取締役（CCO）

1970年石川県金沢市生まれ。1986年米国の高校に留学。帰国後、石川県立金沢泉丘高校を経て日本大学商学部へ進学。卒業後、株式会社京都吉兆へ入社。主人徳岡孝二氏に師事し日本料理修業の後、銭屋二代目主人となる。2008年にニューヨーク日本総領事公邸晩餐会で料理を担当したのをきっかけに、海外での活動の場を広げる。日本料理を世界に普及・発展させるべく、国内外でのデモンストレーションやイベント、子供たちへの食育活動に参加。また、料理コンサルティング業務や講演、エッセイの執筆など幅広く活躍中である。

- 2008年 N.Y. 日本総領事公邸晩餐会にてシェフとして料理担当
- 2011年 シンガポール「ワールド・グルメ・サミット」マスターシェフ受賞
- 2015年 第6回農林水産省の料理人顕彰制度「料理マスターズ」受賞
- 2016年 ミシュランガイド富山・石川（金沢）2016特別版において、二つ星獲得
「ルレ・エ・シャトー」に加盟
米国The Japan Society of BostonよりDistinguished Professional and Cultural Achievement Award受賞
- 2017年 農林水産省より「日本食普及の親善大使」に任命される
- 2021年 「ミシュランガイド北陸2021特別版」において、二つ星を獲得

コーディネータープロフィール



外村 仁氏

元エバーノートジャパン会長

1963年熊本県生まれ。東京大学工学部卒業後、戦略コンサルティング会社バイン&カンパニーで外資系および日系企業の経営コンサルティングに従事。1992年よりアップルコンピューターで市場開発やマーケティング本部長職などを歴任。1997年に同社を退職し、フランスのINSEAD、そしてスイス国際経営大学院(IMD)でMBAを取得。2000年、シリコンバレーにてストリーミング技術のベンチャー Generic Mediaを共同創業。その後はFirst Compass Groupのジェネラルパートナーなどを務める傍ら、創業間もない企業数社のアドバイザーとなり、2010年よりEvernote Japan会長として、NTT DoCoMoや日経新聞との大型資本/業務提携を実現、同社をユニコーン企業に成長させる。

現在、スクラムベンチャーズ、All Turtles、mmhmm等でアドバイザーを務める。2020年秋にFood Tech Studio - Bites!を創設し、日本の大手食メーカーと世界のスタートアップによるオープンイノベーションを推進中。SKS-Jの共同創設者とともに「フードテック革命」を日経BPより出版。全日本食学会会員、肉肉学会理事、総務省「異能ベーション」プログラムアドバイザー



第3分科会 (石川県高P連主管)

基調講演とパネルディスカッション

会場：いしかわ総合スポーツセンター・サブアリーナ

テーマ **新時代のキャリアデザイン**

サブテーマ **ローカルキャリアが育む未来の働き方・生き方**

趣旨

今後、日本は、高齢化・人口減少の影響により社会構造が変化していくことが予想されます。国及び地方の財政状況を踏まえると、現在の水準で社会インフラを維持することは困難となりつつあり、地域社会において「自助・共助」への依存度が増えています。また、情報技術の革新に起因して現存する仕事や職業が代替されることにともない、人々の職業選択及びライフプランも大きく影響を受けます。私たち親世代にとっては、ますます不確実、不安定、複雑であって先の読めない社会が到来することについての懸念のほうが大きいかもかもしれません。しかし、このような状況を悲観的に捉えるのではなく、むしろ、新たな時代に即し、子どもたちが真に幸福な人生を送ることができるよう、社会の有り様と人間が生きる価値を改めて見直す必要があると考えます。

「ローカルキャリア」とは、「地域に関わりながら働き、地域という生活者に近いところで生活者と共生関係を持ちながら、地域の人や資源を生かし共創する。」ことを指します。従前から、あらゆる社会的資本が都市部に集中する現在の社会構造の弊害が指摘されていたところ、地域と密接に関わり合いながら自己実現を図ることを選択し、多様な価値観を背景としてキャリア形成を志向する若年層の増加も見られるところです。この事業を通じ、新時代において多様化する「個人のキャリア形成」についての学びを深め、家庭、学校および地域がなすべき役割を考えます。

内容 基調講演 パネルディスカッション

講師 **【基調講演】 石井重成氏**

(青森大学准教授、地域人材共創機構代表理事、総務省地域情報化アドバイザー)

[演題] ローカルキャリア研究から見えてきた未来のキャリアデザイン

パネリスト **石井重成氏**

岩本 悠氏 (一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム代表理事)

古谷星斗氏 (リクルートワークス研究所・研究員)

山岸 充氏 (石川県立七尾高等学校PTA会長、株式会社パナシス七尾・常務取締役)

コーディネーター **森山奈美氏** (株式会社御祇川・代表取締役)

司会 **輪瀬 薫** (石川県立七尾高等学校PTA副会長)

講師プロフィール



石井 重成氏

青森大学准教授／(一社)地域・人材共創機構代表理事

国際基督教大学を卒業後、経営コンサルティング会社を経て、東日本大震災を機に岩手県釜石市へ移住。地方創生の戦略立案や官民パートナーシップを統括。半官半民の地域コーディネーター構想、グローバル金融機関と連携した次世代教育、広域連携による移住・創業支援、DMOによる観光地域づくり、ローカルSDGsなど、人口減少時代の持続可能なまちづくりを推進。2017年に一般社団法人地域・人材共創機構を設立、『ローカルキャリア白書ー未来の働き方はここにある』を発刊。2021年4月より青森大学准教授。

総務省地域力創造アドバイザー／地域情報化アドバイザー、デジタル庁シェアリングエコノミー伝道師、環境省「地域循環共生圏プラットフォーム事業」アドバイザー、東青地域移住・交流サポート協議会アドバイザー、ふくしま12市町村移住支援アドバイザー、(一社)明和観光商社共創フェロー等。



パネリストプロフィール



岩本 悠氏

(一財) 地域・教育魅力化プラットフォーム 代表理事

東京生まれ。学生時代にアジア・アフリカ20ヶ国の地域開発の現場を巡り、その体験学習記『流学日記』を出版。その印税等でアフガニスタンに学校を建設。

幼・小・中・高校の教員免許を取得し、卒業後はソニーで人材育成・組織開発・社会貢献事業等に携わる。2007年より隠岐島前高校魅力化プロジェクトに従事。

2015年から島根県教育魅力化特命官として教育と人づくりを推進。2016年第一回特別ソーシャルイノベーター最優秀賞(日本財団)受賞。2017年に一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォームを設立。文部科学省中央教育審議会、経済産業省産業構造審議会、内閣府総合科学技術・イノベーション会議等の委員。共著に『未来を変えた島の学校-隠岐島前発ふるさと再興への挑戦(岩波書店)』『地域協働による高校魅力化ガイド-社会に開かれた学校をつくる(岩波書店)』



古屋 星斗氏

リクルートワークス研究所主任研究員／一般社団法人スクール・トゥ・ワーク代表理事

2011年一橋大学大学院 社会学研究科総合社会科学専攻修了。同年、経済産業省に入省。

産業人材政策、投資ファンド創設、福島復興・避難者の生活支援、「未来投資戦略」策定に携わる。

2017年より現職。労働市場について分析するとともに、若手社会人のキャリア形成を研究。また、研究内容を活用し高校生や大学生へのキャリア支援も実施する。直近の研究テーマは、「行動」で考える若者キャリア」「高校卒就職」「現代の職場環境における若手育成」。経済産業省や大阪府等、自治体・行政との共同研究も多数。中日新聞教育面において「進路選択の新常識(ニューノーマル)」を連載中のほか、NHKラジオ第一「マイあさ!」のレギュラーコメンテーターも務める。組織行動学会、日本キャリア教育学会所属。



山岸 充氏

石川県立七尾高等学校PTA会長

株式会社パナシス七尾・常務取締役／ヤマギシミツル商店代表

石川県七尾市出身、七尾高校卒業後、大学進学を経て秋田県能代市で17年間システムエンジニアとして、運送業、港湾荷役業、通関業、林業のシステム開発に携わる。

平成26年、25年ぶりに七尾市に戻り生活の拠点を移す。

株式会社パナシス七尾に就職、平成28年常務取締役就任。

平成29年ヤマギシミツル商店を開業(不動産賃貸業)。

平成30年度七尾商工会議所青年部専務理事、令和4年度七尾法人会青年部理事等、地域の経済団体へ所属し、地域経済発展への礎となる活動を行う。

令和3年度七尾高校PTA副会長を経て、令和4年度七尾高校PTA会長に就任、現在に至る。

コーディネータープロフィール



森山 奈美氏

株式会社御祓川 代表取締役

石川県七尾市生まれ。横浜国立大学工学部建設学科建築学コース卒業。都市計画専攻。平成7年(株)計画情報研究所入社。都市計画コンサルタントとして、地域振興計画、道路計画等を担当。民間まちづくり会社(株)御祓川(みそぎがわ)の設立に携わり、平成11年より同社チーフマネージャーを兼務。平成19年より現職。その取り組みが日本水大賞国土交通大臣賞、ふるさとづくり大賞総務大臣表彰などを受賞。経済産業省「ソーシャルビジネス55選」に選出された。

能登の特産品を取り扱う「能登スタイルストア」を運営するほか、地域の課題解決に挑戦する若者を能登に誘致する実践型インターンシップ「能登留学」、能登半島の地域企業の人材研修・組織開発・採用支援などを担う「能登の人事部」として地域全体の人材育成にも取り組む。能登留学生と生活を共にするインターンハウスの家主でもあり、200名を超える能登留学OBOGが能登に帰る際の拠点になっている。

様々な主体が関わるまちづくりのつなぎ役として、能登の元気を発信し「小さな世界都市・七尾」の実現を目指して日々、挑戦中。



第4分科会 (全国高P連主管：リクルート)

基調講演 I・II
録画配信

テーマ **新時代の進路選択**

サブテーマ **正解のない時代に、どう未来を選択していくか**

趣旨 この10年で切り取ってみても、コロナ影響での生活変容を筆頭に、人々や社会のあり方が大きく変化する出来事が起こっています。ひと昔前は、単線型と呼ばれていた一方で、現在はVUCAの時代と言われ、ますます先行きが不透明な時代に。
しかしながら、価値観の変化・選択肢の多様化をポジティブに捉え、**「自分のやりたいこと」**を突き詰めていける時代にもなっているように感じます。
こちらの分科会では、**正解のない時代ゆえの進路選択** 一高校卒業後のみならず、その先の在り方・生き方までを含む一 つについて、視点を深めていけるパートを目指します。

内容 基調講演

講師 **【基調講演 I】小宮山利恵子氏**

(スタディサプリ教育AI研究所所長・東京学芸大学大学院准教授)

【基調講演 II】赤土豪一氏

(リクルート「キャリアガイダンス」編集長・東京学芸大学客員准教授)

講師プロフィール



小宮山利恵子氏

スタディサプリ教育AI研究所所長
国立大学法人東京学芸大学大学院准教授

1977年東京都生まれ。早稲田大学大学院修了後、衆議院、ベネッセ等を経て2015年リクルート入社、現職。東京工業大学リーダーシップ教育院、「教育におけるICT利活用促進をめざす議員連盟」、ANA、熊本県八代市などのアドバイザーを兼務。その他経団連EdTech戦略検討会座長等。近著に『リア力で生きる』(KADOKAWA、2019年)、『新時代の学び戦略』(産経新聞出版、2019年)等。



赤土 豪一氏

リクルート「キャリアガイダンス」編集長
国立大学法人東京学芸大学客員准教授

1984年大阪府生まれ。早稲田大学大学院商学研究科ビジネス専攻(MBA)修了。新卒で株式会社ベネッセコーポレーションへ入社。マーケティング/教材開発へ従事。その後、リクルートへ転職。以降、アナログ/デジタルを問わず、一貫してスタディサプリにおける高校生向けキャリア教育プログラムの開発に従事。編集デスクを経て、2021年4月より、教員向け専門誌「キャリアガイダンス」編集長へ就任。2022年4月より、国立大学法人東京学芸大学客員准教授。

第71回 全国高等学校PTA連合会大会 石川大会

表彰



金沢城公園 石川櫓

輝く未来への礎

～親から始める新時代の教育～



令和4年度優良PTA文部科学大臣表彰被表彰団体一覧

(都道府県順)

No	都道府県	団 体 名
1	青森県	青森県立五所川原農林高等学校父母と教師の会
2	岩手県	岩手県立住田高等学校PTA
3	秋田県	秋田県立秋田高等学校父母と教師の会
4	山形県	山形県立庄内農業高等学校PTA
5	茨城県	茨城県立竹園高等学校PTA
6	埼玉県	埼玉県立皆野高等学校PTA
7	新潟県	新潟県立村上中等教育学校PTA
8	富山県	富山県立富山南高等学校PTA
9	石川県	石川県立能登高等学校PTA
10	福井県	福井県立若狭東高等学校PTA
11	岐阜県	岐阜県立多治見工業高等学校育友会
12	静岡県	富士市立高等学校PTA
13	愛知県	愛知県立稲沢東高等学校PTA
14	三重県	三重県立伊勢高等学校PTA
15	滋賀県	滋賀県立膳所高等学校父母教師の会
16	大阪府	興國高等学校PTA
17	兵庫県	兵庫県立三木東高等学校PTA
18	奈良県	奈良県立高円高等学校・高円芸術高等学校育友会
19	和歌山県	和歌山県立海南高等学校静波会
20	島根県	島根県立矢上高等学校PTA
21	広島県	広島国際学院中学校・高等学校PTA
22	香川県	高松中央高等学校PTA
23	愛媛県	愛媛県立松山西中等教育学校PTA
24	福岡県	福岡県立三池工業高等学校PTA
25	佐賀県	佐賀県立唐津青翔高等学校教育振興会
26	長崎県	長崎県立西彼杵高等学校育友会
27	大分県	大分県立情報科学高等学校PTA
28	宮崎県	宮崎県立都城西高等学校保護者と教職員会の会
29	鹿児島県	鹿児島県立蒲生高等学校PTA